

平成17年度 臨床研修に関する調査

厚生労働科学研究班：「新医師臨床研修制度の評価に関する調査研究」
 <主任研究者：福井次矢（聖路加国際病院院長）>
 同：「卒前教育から生涯教育を通じた医師教育の在り方に関する研究」
 <主任研究者：篠崎英夫（国立保健医療科学院院長）>

【記入上の注意】

- この調査票は**2年目の研修医**の方がご記入ください。
- 調査票は、同封の封筒に入れ、**封をしたのち、病院に提出**してください。ご回答いただきました内容については、次のように取り扱います。

調査目的以外には使用いたしません。
 統計的に処理し、個人名等が特定できないように配慮します。
 自由記述の内容も、個々の回答者が特定されないよう配慮し、データ化します。
 調査の拒否や、調査項目の一部への回答拒否があっても、そのことで不利益が生ずることはありません。
 調査結果は、報告書として公表されます。

なお、調査内容についてご不明な点がございましたら、下記までお問い合わせください。

<アンケート内容に関する問い合わせ先>

〒100-8916

東京都千代田区霞ヶ関1-2-2 厚生労働省 医政局 医事課 医師臨床研修推進室

TEL 03-5253-1111(内線2568)、03-3595-2196(夜間直通) FAX 03-3591-9072

以下の項目について、あてはまるものを で囲む、あるいは()内にご回答ください

・あなたの属性について

| | | | | |
|----|------|------|-----------|------|
| 性別 | 1 男性 | 2 女性 | 実家の現在の所在地 | 都道府県 |
| 年齢 | 歳 | | 出身大学 | 大学 |

・臨床研修について

【病院の属性について】

問1 あなたの研修プログラムを管理している病院の名称

問2 あなたの研修プログラムを管理している病院はどれに当たりますか

- 1 大学附属病院 2 単独型臨床研修病院 3 管理型臨床研修病院

問3 研修プログラムを管理している病院の所在地

都道府県

問4 研修プログラムを管理している病院の規模（病床数）

- | | | |
|-----------------|-----------------|-----------------|
| 1 100床未満 | 3 300床以上 500床未満 | 5 700床以上 900床未満 |
| 2 100床以上 300床未満 | 4 500床以上 700床未満 | 6 900床以上 |

【研修期間の内訳について】

問5 2年間の臨床研修のうち、それぞれの研修期間を教えてください

* 大学附属病院が協力施設になっているときは“1”に記入してください

| | |
|-----------------|----|
| 1 大学附属病院 | ヶ月 |
| 2 単独型・管理型臨床研修病院 | ヶ月 |
| 3 協力型臨床研修病院 | ヶ月 |
| 4 研修協力施設 | ヶ月 |

問6 2年間の臨床研修のうち、それぞれの研修期間をお答えください

| 問6 2年間の臨床研修 | | うな施設で研修しましたか | |
|-------------|----|----------------|----|
| 1 内科系 | ヶ月 | 1 保健所 | ヶ月 |
| 2 外科系 | ヶ月 | 2 へき地・離島診療所 | ヶ月 |
| 3 救急部門 | ヶ月 | 3 中小病院・診療所 | ヶ月 |
| 4 小児科 | ヶ月 | 4 介護老人保健施設 | ヶ月 |
| 5 産婦人科 | ヶ月 | 5 社会福祉施設 | ヶ月 |
| 6 精神科 | ヶ月 | 6 赤十字社血液センター | ヶ月 |
| 7 地域保健・医療 | ヶ月 | 7 各種検診・検診の実施施設 | ヶ月 |
| 8 その他 | ヶ月 | 8 その他 | ヶ月 |

問6-2 問6で“8”を選んだ場合、内容をお答えください

| | | | |
|---------|----|--------------------|----|
| 1 整形外科 | ヶ月 | 8 泌尿器科 | ヶ月 |
| 2 形成外科 | ヶ月 | 9 リハビリテーション（理学療法）科 | ヶ月 |
| 3 脳神経外科 | ヶ月 | 10 放射線科 | ヶ月 |
| 4 小児外科 | ヶ月 | 11 病理 | ヶ月 |
| 5 眼科 | ヶ月 | 12 緩和ケア部門 | ヶ月 |
| 6 耳鼻咽喉科 | ヶ月 | 13 その他（ | ヶ月 |
| 7 皮膚科 | ヶ月 | | |

【研修中の時間外勤務について】

問7 研修中の日直・当直の回数は平均して月にどのくらいですか

回

問8 研修中の自宅待機（またはオンコール当番）の回数は平均して月にどのくらいですか

回

【受持症例について】

問9 2年間の臨床研修で担当した入院患者数についてお尋ねします

問9-1 平均して、1日当たり何人ほどの入院患者を担当していましたか

人

問9 - 2 担当した入院患者の総数はどのくらいですか

人

【研修への満足度】

問10 あなたが現在研修している病院の研修体制等に満足していますか（印は1つ）

1 満足している 問10-1へ 2 満足していない 問10-2へ 3 わからない

問10-1 問10で“1”と回答した場合、その理由は何ですか（あてはまるもの全てに 印）

- | | |
|-------------------------|--------------------|
| 1 指導医の指導が熱心 | 7 職場の雰囲気が良い |
| 2 研修に必要な症例・手技の経験が十分 | 8 教育資源（図書など）が十分である |
| 3 待遇・処遇がよい | 9 雑用が少ない |
| 4 研修に対する診療科間（病院間）の連携がよい | 10 相談体制が十分整っている |
| 5 コ・メディカルとの連携がうまくいっている | 11 第一志望の病院である |
| 6 受け入れ体制が十分整っている | 12 その他（ ） |

問10-2 問10で“2”と回答した場合、その理由は何ですか（あてはまるもの全てに 印）

- | | |
|-------------------------|-------------------|
| 1 指導医から十分に教えてもらえない | 7 職場の雰囲気が良くない |
| 2 研修に必要な症例・手技の経験が不十分 | 8 教育資源（図書など）が足りない |
| 3 待遇・処遇が悪い | 9 雑用が多い |
| 4 研修に対する診療科間（病院間）の連携が悪い | 10 相談体制が十分整っていない |
| 5 コ・メディカルとの連携がうまくいかない | 11 第一志望の病院ではない |
| 6 受け入れ体制が十分整っていない | 12 その他（ ） |

問11 あなたが研修している研修プログラムに満足していますか

1 満足している 問11-1へ 2 満足していない 問11-2へ 3 わからない

問11-1 問11で“1”と回答した場合、その理由は何ですか（あてはまるもの全てに 印）

- | | |
|-----------------------|-----------------------|
| 1 プライマリ・ケアの能力を身につけられる | 4 期待していた通りの内容である |
| 2 全人的医療を学ぶことができるから | 5 複数の科を回って進路を決める参考になる |
| 3 専門医研修にうまくつながりそうである | 6 その他（ ） |

問11-2 問11で“2”と回答した場合、その理由は何ですか（あてはまるもの全てに 印）

- | | |
|--------------------------|-------------------|
| 1 プライマリ・ケアの能力がよく身につけられない | 5 思っていたよりも内容が楽すぎる |
| 2 全人的医療を学ぶことができないから | 6 1分野あたりの研修期間が短い |
| 3 専門医研修にうまくつながりそうでない | 7 希望する科を選択できない |
| 4 思っていたよりも内容が厳しすぎる | 8 その他（ ） |

問 12 臨床研修の到達目標に関して、この研修でどのくらい達成されたと思いますか（ 印は1つ）

- | | |
|------------------|------------|
| 1 十分達成されたと思う | |
| 2 ほぼ達成されたと思う | |
| 3 あまり達成されなかったと思う | 問 12 - 1 へ |
| 4 達成されなかったと思う | |
| 5 わからない | |

問 12 - 1 問 12 で “ 3 ” または “ 4 ” と回答した場合、達成するために必要な課題は何ですか
(あてはまるもの全てに 印)

- | | |
|------------------|------------------|
| 1 各科の研修期間を長くすること | 7 プライマリ・ケアを充実させる |
| 2 指導医をよくすること | 8 回る科を少なくする |
| 3 本人の努力 | 9 雑用を減らす |
| 4 十分な症例数 | 10 コ・メディカルの協力 |
| 5 手技をやらせてもらう | 11 その他 () |
| 6 科の選択を自由にする | |

問 13 あなたが研修を受けている病院の処遇・待遇に満足していますか

- | | | | | |
|----------|------------|-----------|------------|---------|
| 1 満足している | 問 13 - 1 へ | 2 満足していない | 問 13 - 2 へ | 3 わからない |
|----------|------------|-----------|------------|---------|

問 13 - 1 問 13 で “ 1 ” と回答した場合、その理由は何ですか (あてはまるもの全てに 印)

- | | |
|-------------|----------------|
| 1 給料・手当が良い | 5 研修医専用の部屋がある |
| 2 住宅環境が良い | 6 学会や研究会に行きやすい |
| 3 IT環境がよい | 7 その他 () |
| 4 休暇が充実している | |

問 13 - 2 問 13 で “ 2 ” と回答した場合、その理由は何ですか (あてはまるもの全てに 印)

- | | |
|--------------------|----------------|
| 1 給料・手当が安い | 5 研修医専用の部屋がない |
| 2 住宅環境が良くない | 6 学会や研究会に行きにくい |
| 3 IT環境が悪い | 7 その他 () |
| 4 勤務時間が長い・休暇が取りづらい | |

【説明との異同】

問 14 説明会又は面接時に説明された処遇・待遇と現在の処遇・待遇は同じですか

- | | | | | | |
|-----------|------------|------|-----------|------------|---------|
| 1 現在の方がよい | 問 14 - 1 へ | 2 同じ | 3 現在の方が悪い | 問 14 - 2 へ | 4 わからない |
|-----------|------------|------|-----------|------------|---------|

問 14 - 1 問 14 で “ 1 ” と回答した場合、具体的にはどのような違いがありましたか
(あてはまるもの全てに 印)

- | | |
|------------|-----------|
| 1 給料・手当が良い | 4 勤務時間が適当 |
| 2 住宅環境が良い | 5 その他 () |
| 3 休暇が取れる | |

問 14 - 2 問 14 で “ 3 ” と回答した場合、具体的にはどのような違いがありましたか

(あてはまるもの全てに 印)

| | |
|------------|-----------|
| 1 給料・手当が悪い | 4 勤務時間が長い |
| 2 住宅環境が悪い | 5 勤務時間が短い |
| 3 休暇が取れない | 6 その他() |

【相談体制】

問 15 研修を受けるうえで何か問題が生じた場合に誰に相談していますか

(あてはまるもの全てに 印)

| | |
|-------------------|--------------|
| 1 研修管理委員会・委員長 | 6 看護職(師長など) |
| 2 プログラム責任者 | 7 研修医(同僚・先輩) |
| 3 指導医 | 8 その他() |
| 4 上級医(指導医を除く) | 9 相談相手がいない |
| 5 専属又は兼務の研修医相談担当者 | 10 相談しない |

・臨床研修後のことについて

【研修後の進路について】

問 16 臨床研修修了後の予定はどれですか

| | |
|---|---------------|
| 1 現在、研修をしている大学に在籍し、その大学または医局が紹介する病院で勤務・研修する | 問 16 - 1, 3 へ |
| 2 現在、研修をしているのは別の大学に在籍し、その大学または医局が紹介する病院で勤務・研修する | 問 16 - 1, 3 へ |
| 3 現在、研修をしている市中病院で引き続き勤務・研修する | 問 16 - 2, 3 へ |
| 4 現在、研修をしているのは別の市中病院で勤務・研修する | 問 16 - 2, 3 へ |
| 5 臨床系大学院に進学する | 問 16 - 3 へ |
| 6 基礎・社会医学系大学院に進学する | |
| 7 基礎・社会医学系研究者(大学院生をのぞく)になる | |
| 8 開業する(開業医を引き継ぐ場合も含む) | |
| 9 保健所等、医療行政の仕事につく | |
| 10 医療・研究以外の仕事につく(具体的に) | |
| 11 海外に勤務・留学する | |
| 12 まだ決まっていない | |
| 13 その他() | |

問 16 - 1 問 16 で “ 1 ” または “ 2 ” と回答した場合、身分はどれになる予定ですか

| | |
|-------------|----------|
| 1 大学の正規職員 | 4 その他() |
| 2 大学の期限付き職員 | 5 わからない |
| 3 派遣先病院の職員 | |

問 16 - 2 問 16 で “ 3 ” または “ 4 ” と回答した場合、身分はどれになる予定ですか

| | |
|---------|----------|
| 1 正規職員 | 3 その他() |
| 2 非常勤職員 | 4 わからない |

問 16 - 3 問 16 で “ 1 ~ 5 ” と回答した場合、将来的に、診療所の開業を希望しますか。一番近いと思うものを選んでください

- | | |
|----------------|------------|
| 1 開業は希望しない | 4 開業医を引き継ぐ |
| 2 条件が整えば開業したい | 5 わからない |
| 3 できるだけ早く開業したい | |

問 17 臨床研修修了後の勤務先（または研修先）を決定した理由は何ですか。あてはまる理由に をつけてください（あてはまるもの全てに 印）。そのうち最も大きな理由には をつけて下さい

- | | |
|-------------------------|--------------------|
| 1 「いわゆる後期研修」プログラムが優れている | 11 実家に近い |
| 2 出身大学である | 12 出身地である |
| 3 優れた指導者がいる | 13 配偶者の居住地・勤務地である |
| 4 現在研修している | 14 大都市である |
| 5 給料・処遇がよい | 15 子供の教育を考えた |
| 6 施設・設備が充実している | 16 へき地医療への情熱を持っている |
| 7 専門医取得につながる | 17 先輩医師の紹介 |
| 8 医学博士号が取れる | 18 大学からの派遣 |
| 9 臨床研究が優れている | 19 その他（ ） |
| 10 基礎研究が優れている | |

問 18 臨床研修修了後に勤務・研修する都道府県はどこですか

- | | |
|-----------|---------|
| 1 （ ）都道府県 | 2 わからない |
|-----------|---------|

【専門としたい診療科】

問 19 臨床研修修了後に専門とする特定の診療科（標榜科による）等を決めていますか

- | | | | |
|----------------|----------|-----------|---------------------|
| 1 決めていない | 1 内科 | 12 整形外科 | 23 泌尿器科 |
| 2 決めている ……………▶ | 2 心療内科 | 13 形成外科 | 24 リハビリテーション（理学療法）科 |
| | 3 呼吸器科 | 14 美容外科 | 25 放射線科 |
| | 4 消化器科 | 15 脳神経外科 | 26 麻酔科 |
| | 5 循環器科 | 16 呼吸器外科 | 27 救命救急 |
| | 6 アレルギー科 | 17 心臓血管外科 | 28 総合診療科 |
| | 7 リウマチ科 | 18 小児外科 | 29 病理 |
| | 8 小児科 | 19 産婦人科 | 30 緩和ケア部門 |
| | 9 精神科 | 20 眼科 | 31 医療行政職 |
| | 10 神経内科 | 21 耳鼻咽喉科 | 32 基礎系 |
| | 11 外科 | 22 皮膚科 | 33 その他（ ） |
- 右の囲みの中から
印をひとつ付けて
問 19 - 1, 2へ

問 19 - 1 問 19 で“ 2 (「決めている」)”と回答した場合、その診療科を選んだ理由はなぜですか(あてはまるもの全てに 印)

- | | |
|----------------|----------------|
| 1 学問的に興味があるから | 6 訴訟が少ないから |
| 2 やりがいがあるから | 7 いい指導医がいたから |
| 3 その科の対象が好きだから | 8 親や親類がその科だから |
| 4 収入がよいから | 9 先輩や教授に誘われたから |
| 5 自由な時間が多いから | 10 その他() |

問 19 - 2 問 19 で“ 2 (「決めている」)”と回答した場合、その診療科は臨床研修を受ける前後で変わりましたか

- | | |
|---------|--------------------------|
| 1 変わらない | 2 変わった 問 19 - 2 - 1, 2 へ |
|---------|--------------------------|

問 19 - 2 - 1 問 19 - 2 で“ 2 (「変わった」)”と回答した場合、変更する前はどの診療科を考えていましたか。問 19 の診療科の中から選んで番号を記入してください

* 問 19 の番号(診療科)を記入

問 19 - 2 - 2 問 19 - 2 で“ 2 (「変わった」)”と回答した場合、その理由はなんですか(あてはまるもの全てに 印)

- | | |
|--------------------------------|---|
| 1 現在進もうと思っている科を研修してみて興味がわいたから | |
| 2 以前進もうと思っていた科を研修してみて興味がそがれたから | |
| 3 以前進もうと思っていた科を研修してみて大変だと思ったから | |
| 4 臨床研修とは別の理由で変更した(具体的に |) |
| 5 何となく | |
| 6 その他(|) |

【専門医等の取得について】

問 20 あなたは専門医・認定医の資格を取りたいと思いますか

- | | | |
|--------|----------|----------|
| 1 そう思う | 2 そう思わない | 3 決めていない |
|--------|----------|----------|

問 21 あなたは医学博士号を取りたいと思いますか

- | | | |
|--------|----------|----------|
| 1 そう思う | 2 そう思わない | 3 決めていない |
|--------|----------|----------|

【将来の進路について】

問 22 将来はどのような分野で仕事をしたいと考えていますか

- | | |
|--------------------|-----------|
| 1 臨床 問 22 - 1, 2 へ | 4 保健所等の行政 |
| 2 教育 | 5 その他() |
| 3 研究 | 6 わからない |

問 22 - 1 問 22 で “ 1 ” と回答した場合、将来、どのような専門性で勤務することを目指していますか。一番近いと思うものを選んでください

- | |
|---|
| 1 幅広い病気の治療にかかわる診療をしたい(例:総合診療医、救急) |
| 2 幅広い病気の治療にかかわりながらも、特定の分野である程度の専門性をもって診療したい (例:内科開業医、一般外科) |
| 3 特定の診療科の対象患者を幅広く治療する医師として診療したい(例:消化器科、脳神経外科、眼科) |
| 4 特定の診療科で、さらに特定の分野の専門性をもって診療したい(例:肝臓専門) |

問 22 - 2 問 22 で “ 1 ” と回答した場合、将来、大学の医局への入局を希望しますか

- | | | | |
|-----------|------------|---------|---------|
| 1 入局を希望する | 2 入局を希望しない | 3 わからない | 4 関心がない |
|-----------|------------|---------|---------|

【仕事と生活とのバランスについて】

問 23 将来、仕事と自分の生活のバランスをどのようにしたいと考えていますか。一番近いと思うものを選んでください

- | |
|-----------------------------------|
| 1 仕事に生き甲斐を求めて、全力を傾ける |
| 2 自分の生活も大切にするが、どちらかという仕事のほうを大切にする |
| 3 仕事も、自分の生活も同じくらい大切にする |
| 4 仕事も大切にするが、どちらかという自分の生活のほうを大切にする |
| 5 仕事よりも、自分の生活を大切にする |

【大切に思うこと】

問 24 将来、最も大切にしたいものはなんですか

- | | |
|----------|------------|
| 1 社会への貢献 | 5 地位・名誉 |
| 2 技術向上 | 6 自分の自由な時間 |
| 3 研究業績 | 7 家族・家庭 |
| 4 収入 | 8 その他() |

・臨床研修で身に付いた基本的な臨床知識、技術、態度について

問 25 臨床研修で身に付いた臨床知識、技術、態度についてお尋ねします。以下の項目について A、B、C、D のうち、あてはまる記号を で囲んでください

- | | |
|------------------|-----------------------|
| A 確実にできる、自信がある | C あまり自信がない、ひとりでは不安である |
| B だいたいできる、たぶんできる | D できない |

| | | | | | |
|----|---------------------------------------|---|---|---|---|
| 1 | 患者の解釈モデルを聞きだすことができる | A | B | C | D |
| 2 | 患者の病歴を系統的に聴取できる | A | B | C | D |
| 3 | 患者と非言語的コミュニケーションができる | A | B | C | D |
| 4 | バイタルサインを取ることができる | A | B | C | D |
| 5 | 皮膚の所見を記述できる | A | B | C | D |
| 6 | 眼底所見により、動脈硬化の有無を判定できる | A | B | C | D |
| 7 | 鼓膜を観察し、異常の有無を判定できる | A | B | C | D |
| 8 | 甲状腺の触診ができる | A | B | C | D |
| 9 | 心尖拍動を触知できる | A | B | C | D |
| 10 | 心雑音を聴取し、記載できる | A | B | C | D |
| 11 | ラ音を聴取し、記載できる | A | B | C | D |
| 12 | 筋性防御の有無を判定できる | A | B | C | D |
| 13 | 直腸診で前立腺の異常を判断できる | A | B | C | D |
| 14 | 妊娠の初期兆候を把握できる | A | B | C | D |
| 15 | 双手診により女性付属器の腫脹を触知できる | A | B | C | D |
| 16 | 関節可動域を検査できる | A | B | C | D |
| 17 | 髄膜刺激所見をとることができる | A | B | C | D |
| 18 | 小児の精神運動発達の異常を判断できる | A | B | C | D |
| 19 | うつ病の診断基準を述べることができる | A | B | C | D |
| 20 | 骨折、脱臼、捻挫の鑑別診断ができる | A | B | C | D |
| 21 | 尿沈査の鏡検で、赤血球、白血球、円柱を区別できる | A | B | C | D |
| 22 | 便の潜血反応を実施し、結果を解釈することができる | A | B | C | D |
| 23 | 血液ガス分析の適応が判断でき、結果の解釈ができる | A | B | C | D |
| 24 | 血算・白血球分画検査の適応が判断でき、結果の解釈ができる | A | B | C | D |
| 25 | 血液生化学的検査の適応が判断でき、結果の解釈ができる | A | B | C | D |
| 26 | 血液凝固機構に関する検査を指示し、結果を判定できる | A | B | C | D |
| 27 | 簡易検査（血糖、電解質、尿素窒素など）の適応が判断でき、結果の解釈ができる | A | B | C | D |
| 28 | 血液免疫血清学的検査の適応が判断でき、結果の解釈ができる | A | B | C | D |
| 29 | 内分泌学的検査の適応が判断でき、結果の解釈ができる | A | B | C | D |
| 30 | グラム染色を行い、結果の解釈ができる | A | B | C | D |
| 31 | 髄液検査の適応が判断でき、結果の解釈ができる | A | B | C | D |

| | | | | | |
|----|---------------------------------------|---|---|---|---|
| 32 | 心電図検査を自ら実施し、不整脈の鑑別診断ができる | A | B | C | D |
| 33 | 肺機能検査で閉塞性換気障害の判定ができる | A | B | C | D |
| 34 | 超音波検査を自ら実施し、胆管拡張の判定ができる | A | B | C | D |
| 35 | 胸部単純X線でシルエットサインを判定できる | A | B | C | D |
| 36 | 腹部単純X線でイレウスを判定できる | A | B | C | D |
| 37 | 胸部CTで肺癌による所見を見出すことができる | A | B | C | D |
| 38 | 頭部MRI検査の適応が判断でき、脳梗塞を判定できる | A | B | C | D |
| 39 | 手術の手洗いが適切にできる | A | B | C | D |
| 40 | 静脈血採血が正しくできる | A | B | C | D |
| 41 | 動脈血採血が正しくできる | A | B | C | D |
| 42 | 血液型クロスマッチを行い、結果の判定ができる | A | B | C | D |
| 43 | 輸液の種類と適応を挙げ、輸液の量を決定できる | A | B | C | D |
| 44 | 腰椎穿刺を実施できる | A | B | C | D |
| 45 | 導尿法を実施できる | A | B | C | D |
| 46 | 抗菌薬の作用・副作用を理解し、処方できる | A | B | C | D |
| 47 | 局所浸潤麻酔とその副作用に対する処置が行える | A | B | C | D |
| 48 | 傷病の基本的処置として、デブリードマンができる | A | B | C | D |
| 49 | 皮膚縫合法を実施できる | A | B | C | D |
| 50 | 術後起こりうる合併症及び異常に対して基本的な対処ができる | A | B | C | D |
| 51 | 術前患者の不安に対し、心理的配慮をした処置ができる | A | B | C | D |
| 52 | 心マッサージができる | A | B | C | D |
| 53 | 気管挿管ができる | A | B | C | D |
| 54 | レスピレーターを装着し、調節できる | A | B | C | D |
| 55 | 電氣的除細動の適応を挙げ、実施できる | A | B | C | D |
| 56 | 救急患者の重傷度および緊急度を判断できる | A | B | C | D |
| 57 | ショックの診断と治療ができる | A | B | C | D |
| 58 | 末期患者の家族に病気を説明し、家族の心理的不安を受け止めることができる | A | B | C | D |
| 59 | 在宅医療を希望する末期患者のために、環境整備を指導できる | A | B | C | D |
| 60 | 緩和ケア（WHO方式がん疼痛治療法を含む）のチーム医療に参加できる | A | B | C | D |
| 61 | 患者の身体的側面だけでなく、心理社会的側面に配慮した治療ができる | A | B | C | D |
| 62 | 医療費や社会福祉サービスに関する患者、家族の相談に応じ、解決法を指導できる | A | B | C | D |
| 63 | インフォームドコンセントをとることが実施できる | A | B | C | D |
| 64 | 指導医や専門医に適切なタイミングでコンサルテーションができる | A | B | C | D |
| 65 | 糖尿病患者への健康教育（健康相談および指導）ができる | A | B | C | D |
| 66 | 日常よく行う処置、検査等の保険点数を知っている | A | B | C | D |
| 67 | ソーシャルワーカーの役割を理解し、協同して患者ケアを行える | A | B | C | D |
| 68 | 禁煙指導ができる | A | B | C | D |

| | | | | | |
|----|---|---|---|---|---|
| 69 | 患者の知識や関心のレベルに応じた健康教育ができる | A | B | C | D |
| 70 | 在宅医療の適応の判断ができる | A | B | C | D |
| 71 | 地域の医療資源を活用し、入院患者の退院後も継続性のある医療を提供できるよう調整することができる | A | B | C | D |
| 72 | 社会福祉施設等の役割について理解し、連携をとることができる | A | B | C | D |
| 73 | 診療上湧き上がってきた疑問点について、Medline で文献検索ができる | A | B | C | D |
| 74 | カンファレンス等で簡潔に受持患者のプレゼンテーションできる | A | B | C | D |
| 75 | 診療録（退院時サマリーを含む）を POS(Problem Oriented System)に従って記載し管理できる | A | B | C | D |
| 76 | 研究デザインを理解して、論文を読むことができる | A | B | C | D |
| 77 | 学会で症例報告ができる | A | B | C | D |
| 78 | データの種類に応じて適切な統計学的解析ができる | A | B | C | D |
| 79 | 医療上の安全確認の基本的な考え方を理解し、実施できる | A | B | C | D |
| 80 | 医療事故防止及び事故後の対処について、マニュアルなどに沿って行動できる | A | B | C | D |
| 81 | 院内感染対策(Standard Precautionsを含む)の基本を理解し、実施できる | A | B | C | D |
| 82 | 高齢者の聴力・視力・認知面での障害の有無に配慮した、病歴聴取を行うことができる | A | B | C | D |
| 83 | 高齢者の症状が非特異的、非典型的であることを理解して、身体所見をとることができる | A | B | C | D |
| 84 | 高齢者の身体的、精神的、社会的活動性をできるだけ良好に維持するような治療法を呈示することができる | A | B | C | D |
| 85 | 小児の精神運動発達の異常を判断できる | A | B | C | D |
| 86 | 小児の採血、点滴ができる | A | B | C | D |
| 87 | 患児の身体的苦痛のみならず、精神的ケアにも配慮できる | A | B | C | D |
| 88 | 患児の年齢や理解度に応じた説明ができる | A | B | C | D |
| 89 | 代表的な精神科疾患について、診断および治療ができる | A | B | C | D |
| 90 | 精神科領域の薬物治療に伴うことの多い障害について理解し、適切な検査・処置ができる | A | B | C | D |
| 91 | 精神科コメディカルスタッフ（PSW 等）の業務を理解し、連携してケアを行うことができる | A | B | C | D |
| 92 | 地域の精神保健福祉に関する支援体制状況に関する知識を持ち、適切な連携をとることができる | A | B | C | D |
| 93 | 守秘義務を果たし、プライバシーへの配慮ができる。 | A | B | C | D |
| 94 | 患者の基本的権利について説明できる。 | A | B | C | D |
| 94 | 自己決定できない患者での代理決定について判断できる | A | B | C | D |
| 95 | 診療計画(診断、治療、患者・家族への説明を含む)を作成できる。 | A | B | C | D |
| 96 | 診療ガイドラインやクリティカルパスを理解し活用できる。 | A | B | C | D |

・臨床研修での経験症例数について

問 26 あなたの経験症例数をお尋ねします。以下の項目について、2年の研修期間中、入院患者あるいは外来患者で、あなたの経験した数についてあてはまるもの（症例数）を で囲んでください

問 26 - 1 症状・病態について

| | | | | |
|-------------------|----|------|-------|------|
| 1 不眠 | 0例 | 1~5例 | 6~10例 | 11例~ |
| 2 浮腫 | 0例 | 1~5例 | 6~10例 | 11例~ |
| 3 リンパ節腫脹 | 0例 | 1~5例 | 6~10例 | 11例~ |
| 4 発疹 | 0例 | 1~5例 | 6~10例 | 11例~ |
| 5 発熱 | 0例 | 1~5例 | 6~10例 | 11例~ |
| 6 頭痛 | 0例 | 1~5例 | 6~10例 | 11例~ |
| 7 めまい | 0例 | 1~5例 | 6~10例 | 11例~ |
| 8 視力障害、視野狭窄 | 0例 | 1~5例 | 6~10例 | 11例~ |
| 9 結膜の充血 | 0例 | 1~5例 | 6~10例 | 11例~ |
| 10 胸痛 | 0例 | 1~5例 | 6~10例 | 11例~ |
| 11 動悸 | 0例 | 1~5例 | 6~10例 | 11例~ |
| 12 呼吸困難 | 0例 | 1~5例 | 6~10例 | 11例~ |
| 13 咳・痰 | 0例 | 1~5例 | 6~10例 | 11例~ |
| 14 嘔気・嘔吐 | 0例 | 1~5例 | 6~10例 | 11例~ |
| 15 腹痛 | 0例 | 1~5例 | 6~10例 | 11例~ |
| 16 便通異常(下痢、便秘) | 0例 | 1~5例 | 6~10例 | 11例~ |
| 17 腰痛 | 0例 | 1~5例 | 6~10例 | 11例~ |
| 18 四肢のしびれ | 0例 | 1~5例 | 6~10例 | 11例~ |
| 19 血尿 | 0例 | 1~5例 | 6~10例 | 11例~ |
| 20 排尿障害(尿失禁・排尿困難) | 0例 | 1~5例 | 6~10例 | 11例~ |
| 21 不安・抑うつ | 0例 | 1~5例 | 6~10例 | 11例~ |
| 22 心肺停止 | 0例 | 1~5例 | 6~10例 | 11例~ |
| 23 ショック | 0例 | 1~5例 | 6~10例 | 11例~ |
| 24 意識障害 | 0例 | 1~5例 | 6~10例 | 11例~ |
| 25 脳血管障害 | 0例 | 1~5例 | 6~10例 | 11例~ |
| 26 急性心不全 | 0例 | 1~5例 | 6~10例 | 11例~ |
| 27 急性冠症候群 | 0例 | 1~5例 | 6~10例 | 11例~ |
| 28 急性腹症 | 0例 | 1~5例 | 6~10例 | 11例~ |
| 29 急性消化管出血 | 0例 | 1~5例 | 6~10例 | 11例~ |
| 30 外傷 | 0例 | 1~5例 | 6~10例 | 11例~ |
| 31 急性中毒 | 0例 | 1~5例 | 6~10例 | 11例~ |
| 32 誤飲、誤嚥 | 0例 | 1~5例 | 6~10例 | 11例~ |
| 33 熱傷 | 0例 | 1~5例 | 6~10例 | 11例~ |
| 34 自殺企図 | 0例 | 1~5例 | 6~10例 | 11例~ |

問 26 - 2 疾患について（複数の疾患を含む項目は、そのひとつでも経験すれば 1 例と数え、合計数
 をご回答ください）

| | | | | | |
|----|--|-----|-------|--------|-------|
| 35 | 貧血(鉄欠乏性貧血、二次性貧血) | 0 例 | 1~5 例 | 6~10 例 | 11 例~ |
| 36 | 脳・脊髄血管障害(脳梗塞、脳内出血、くも膜下出血) | 0 例 | 1~5 例 | 6~10 例 | 11 例~ |
| 37 | 湿疹・皮膚炎群(接触皮膚炎、アトピー性皮膚炎) | 0 例 | 1~5 例 | 6~10 例 | 11 例~ |
| 38 | 蕁麻疹 | 0 例 | 1~5 例 | 6~10 例 | 11 例~ |
| 39 | 皮膚感染症 | 0 例 | 1~5 例 | 6~10 例 | 11 例~ |
| 40 | 骨折 | 0 例 | 1~5 例 | 6~10 例 | 11 例~ |
| 41 | 関節の脱臼、亜脱臼、捻挫、靭帯損傷 | 0 例 | 1~5 例 | 6~10 例 | 11 例~ |
| 42 | 骨粗鬆症 | 0 例 | 1~5 例 | 6~10 例 | 11 例~ |
| 43 | 脊柱障害(腰椎椎間板ヘルニア) | 0 例 | 1~5 例 | 6~10 例 | 11 例~ |
| 44 | 心不全 | 0 例 | 1~5 例 | 6~10 例 | 11 例~ |
| 45 | 狭心症、心筋梗塞 | 0 例 | 1~5 例 | 6~10 例 | 11 例~ |
| 46 | 不整脈(主要な頻脈性、徐脈性不整脈) | 0 例 | 1~5 例 | 6~10 例 | 11 例~ |
| 47 | 動脈疾患(動脈硬化症、大動脈瘤) | 0 例 | 1~5 例 | 6~10 例 | 11 例~ |
| 48 | 高血圧症(本態性、二次性高血圧症) | 0 例 | 1~5 例 | 6~10 例 | 11 例~ |
| 49 | 呼吸不全 | 0 例 | 1~5 例 | 6~10 例 | 11 例~ |
| 50 | 呼吸器感染症(急性上気道炎、気管支炎、肺炎) | 0 例 | 1~5 例 | 6~10 例 | 11 例~ |
| 51 | 閉塞性・拘束性肺疾患(気管支喘息、気管支拡張症) | 0 例 | 1~5 例 | 6~10 例 | 11 例~ |
| 52 | 食道・胃・十二指腸疾患(食道静脈瘤、胃癌、消化性潰瘍、胃・十二指腸炎) | 0 例 | 1~5 例 | 6~10 例 | 11 例~ |
| 53 | 小腸・大腸疾患(イレウス、急性虫垂炎、痔核・痔漏) | 0 例 | 1~5 例 | 6~10 例 | 11 例~ |
| 54 | 肝疾患(ウイルス性肝炎、急性・慢性肝炎、肝硬変、肝癌、アルコール性肝障害、薬物性肝障害) | 0 例 | 1~5 例 | 6~10 例 | 11 例~ |
| 55 | 横隔膜・腹壁・腹膜(腹膜炎、急性腹症、ヘルニア) | 0 例 | 1~5 例 | 6~10 例 | 11 例~ |
| 56 | 腎不全(急性・慢性腎不全、透析) | 0 例 | 1~5 例 | 6~10 例 | 11 例~ |
| 57 | 泌尿器科的腎・尿路疾患(尿路結石、尿路感染症) | 0 例 | 1~5 例 | 6~10 例 | 11 例~ |
| 58 | 妊娠分娩(正常妊娠、流産、早産、正常分娩、産科出血、乳腺炎、産褥) | 0 例 | 1~5 例 | 6~10 例 | 11 例~ |
| 59 | 男性生殖器疾患(前立腺疾患、勃起障害、精巣腫瘍) | 0 例 | 1~5 例 | 6~10 例 | 11 例~ |
| 60 | 糖代謝異常(糖尿病、糖尿病の合併症、低血糖) | 0 例 | 1~5 例 | 6~10 例 | 11 例~ |
| 61 | 高脂血症 | 0 例 | 1~5 例 | 6~10 例 | 11 例~ |
| 62 | 屈折異常(近視、遠視、乱視) | 0 例 | 1~5 例 | 6~10 例 | 11 例~ |
| 63 | 角結膜炎 | 0 例 | 1~5 例 | 6~10 例 | 11 例~ |
| 64 | 白内障 | 0 例 | 1~5 例 | 6~10 例 | 11 例~ |
| 65 | 緑内障 | 0 例 | 1~5 例 | 6~10 例 | 11 例~ |
| 66 | 中耳炎 | 0 例 | 1~5 例 | 6~10 例 | 11 例~ |
| 67 | アレルギー性鼻炎 | 0 例 | 1~5 例 | 6~10 例 | 11 例~ |
| 68 | 痴呆(血管性痴呆を含む) | 0 例 | 1~5 例 | 6~10 例 | 11 例~ |
| 69 | うつ病 | 0 例 | 1~5 例 | 6~10 例 | 11 例~ |

| | | | | | |
|----|--|----|------|-------|------|
| 70 | 統合失調症(精神分裂病) | 0例 | 1~5例 | 6~10例 | 11例~ |
| 71 | 身体表現性障害、ストレス関連障害 | 0例 | 1~5例 | 6~10例 | 11例~ |
| 72 | ウイルス感染症(インフルエンザ、麻疹、風疹、水痘、ヘルペス、流行性耳下腺炎) | 0例 | 1~5例 | 6~10例 | 11例~ |
| 73 | 細菌感染症(ブドウ球菌、MRSA、A群連鎖球菌、クラミジア) | 0例 | 1~5例 | 6~10例 | 11例~ |
| 74 | 結核 | 0例 | 1~5例 | 6~10例 | 11例~ |
| 75 | 慢性関節リウマチ | 0例 | 1~5例 | 6~10例 | 11例~ |
| 76 | アレルギー疾患 | 0例 | 1~5例 | 6~10例 | 11例~ |
| 77 | 熱傷 | 0例 | 1~5例 | 6~10例 | 11例~ |
| 78 | 小児けいれん性疾患 | 0例 | 1~5例 | 6~10例 | 11例~ |
| 79 | 小児ウイルス感染症(麻疹、流行性耳下腺炎、水痘、突発性発疹、インフルエンザ) | 0例 | 1~5例 | 6~10例 | 11例~ |
| 80 | 小児喘息 | 0例 | 1~5例 | 6~10例 | 11例~ |
| 81 | 高齢者の栄養摂取障害 | 0例 | 1~5例 | 6~10例 | 11例~ |
| 82 | 老年症候群(誤嚥、転倒、失禁、褥瘡) | 0例 | 1~5例 | 6~10例 | 11例~ |

問 26 - 3 医療記録について

| | | | | | |
|----|----------------|----|------|-------|------|
| 83 | 死亡診断書 | 0通 | 1~5通 | 6~10通 | 11通~ |
| 84 | 死体検案書 | 0通 | 1・2通 | 3・4通 | 5通~ |
| 85 | CPC レポート(剖検報告) | 0例 | 1・2例 | 3・4例 | 5例~ |
| 86 | 紹介状 | 0通 | 1~5通 | 6~10通 | 11通~ |

*** 調査は以上です。 ご協力ありがとうございました。 ***